



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月7日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL https://www.taxan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	55,493	△1.2	1,489	△28.7	1,679	△23.8	1,148	△34.4
2018年3月期第1四半期	56,174	7.6	2,088	173.0	2,205	262.1	1,750	25.3

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,207百万円 (△44.3%) 2018年3月期第1四半期 2,167百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	41.87	—
2018年3月期第1四半期	63.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	130,479	71,001	54.4
2018年3月期	128,755	70,631	54.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 70,921百万円 2018年3月期 70,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	30.00	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年3月期 中間配当金の内訳 普通配当25円00銭 特別配当 5円00銭

2018年3月期 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

2019年3月期の連結業績予想については、記載しておりません。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	28,702,118株	2018年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,269,535株	2018年3月期	1,267,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	27,433,124株	2018年3月期1Q	27,435,584株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国が輸入関税を発動したことに端を発して中国およびEUとの貿易摩擦が不安視されつつも、わが国をはじめとして米欧中の主要地域の景気は緩やかな回復基調が続きました。

かかる状況の中、当社グループは「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、既存大手顧客からの海外展開や生産量増加の要請に対応して海外生産拠点の拡充を進めるとともに、国内においても生産拠点の整備、生産機能の強化を図るなど、EMS(注1)ビジネスの拡大に注力してまいりました。また、前連結会計年度より、パワー半導体やコンデンサなど一部の電子部品において需給が逼迫した状況が顕在化しておりますが、独立系商社としての総合力を活かした部品調達や代替品の提案等により、当社グループの事業活動への影響低減に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は554億93百万円(前年同四半期比1.2%減)、営業利益は14億89百万円(前年同四半期比28.7%減)、経常利益は16億79百万円(前年同四半期比23.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億48百万円(前年同四半期比34.4%減)となりました。

売上高は、EMSビジネスが牽引し概ね前年同期並みの水準となりました。利益面では、同ビジネスにおいて主要顧客の製品切替えに伴う生産調整および立上げ期にある海外新工場での費用先行などにより前年同四半期比で減益となりましたが、これらは期初に想定していたものであります。

(注1) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業(半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など)

当事業では、EMSビジネスは車載向けおよび空調機器向けは引き続き順調に推移しましたが、医療機器向けは主要顧客の製品切替えに伴う生産調整により低調に推移しました。部品販売ビジネスは、家電製品向けで主要顧客における生産調整の影響等により低調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は405億7百万円(前年同四半期比2.9%減)、セグメント利益は10億71百万円(前年同四半期比30.4%減)となりました。

②情報機器事業(パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など)

当事業では、住宅向け家電販売ビジネスおよび商業施設向けLED設置ビジネスが、引き続き順調に推移しました。一方、パソコンおよびPC周辺機器販売は市場低迷の影響を受けて低調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は104億17百万円(前年同四半期比6.4%減)となり、セグメント利益は3億17百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。

③ソフトウェア事業(CG制作、ゲーム開発、アミューズメント関連商品の企画・開発など)

当事業では、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などが堅調に推移しましたが、一部の案件において後倒しがみられ費用先行となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4億65百万円(前年同四半期比3.8%増)、セグメント損失は19百万円(前年同四半期は0百万円の損失)となりました。

④その他事業(エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など)

当事業では、PC製品のリサイクルビジネスが好調に推移しましたが、アミューズメント業界向けゲーム機器販売やゴルフ用品販売が低調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は41億3百万円(前年同四半期比42.8%増)となり、セグメント利益は80百万円(前年同四半期比46.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,304億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億24百万円の増加となりました。

流動資産は1,049億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億11百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が30億83百万円減少し、商品及び製品で18億9百万円、原材料及び貯蔵品で9億61百万円、仕掛品で4億10百万円と棚卸資産がそれぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は254億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億12百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が8億49百万円増加したことによるものであります。

負債は594億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億54百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億55百万円増加したことによるものであります。

純資産は710億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億69百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益11億48百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く市場環境を概観しますと、エレクトロニクス化が進行する車載関連市場および医療・ヘルスケア関連市場の拡大、急速に進展するIoT^(注1)を背景としてビッグデータ、人工知能といった新市場の成長により、電子部品に対する需要はますます伸びていくものと思われまます。一方、供給サイドの増産対応がこれに追い付かず、部材によっては受給逼迫が顕在化しています。

このような状況の下、当社グループは車載関連など成長分野への販売活動を一層強化し、引き続きEMSビジネスを中心とした付加価値事業の拡大に注力いたします。

2019年3月期連結業績見通しについては、このように事業環境の変化が激しく不確定要素が大きいことから、現時点では業績予想を算定することが困難な状況にあるため記載しておりませんが、中期経営計画2018(2015年11月4日付)の最終年度として、「収益基盤の強化」「新規事業の創出」「経営基盤の強化」に一層努め、数値目標^(注2)達成に向けて取り組んでまいります。

連結業績予想数値につきましては、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注1) Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

(注2) 中期経営計画2018 数値目標

対象年度	売上高	経常利益	ROE
2019年3月期	2,900億円	100億円	8.0%以上

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,803	30,765
受取手形及び売掛金	45,809	42,726
電子記録債権	4,032	3,634
有価証券	295	236
商品及び製品	15,060	16,870
仕掛品	575	985
原材料及び貯蔵品	3,818	4,780
その他	3,807	5,122
貸倒引当金	△133	△141
流動資産合計	104,069	104,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,870	4,783
機械装置及び運搬具(純額)	2,583	2,691
工具、器具及び備品(純額)	709	706
土地	4,036	4,036
建設仮勘定	10	32
有形固定資産合計	12,210	12,250
無形固定資産		
のれん	317	294
ソフトウェア	515	523
その他	46	43
無形固定資産合計	878	861
投資その他の資産		
投資有価証券	8,688	9,537
繰延税金資産	530	481
差入保証金	657	656
保険積立金	943	940
その他	1,363	1,355
貸倒引当金	△587	△586
投資その他の資産合計	11,595	12,385
固定資産合計	24,685	25,498
資産合計	128,755	130,479

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,392	37,448
短期借入金	5,385	5,803
未払費用	3,711	3,131
未払法人税等	901	764
役員賞与引当金	247	0
その他	3,068	3,782
流動負債合計	49,707	50,930
固定負債		
長期借入金	3,161	2,850
繰延税金負債	1,276	1,522
役員退職慰労引当金	1,264	75
退職給付に係る負債	1,737	1,714
資産除去債務	175	176
その他	800	2,208
固定負債合計	8,416	8,547
負債合計	58,123	59,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,853	13,853
利益剰余金	45,183	45,368
自己株式	△2,042	△2,047
株主資本合計	69,127	69,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,504	1,373
繰延ヘッジ損益	△16	△1
為替換算調整勘定	148	441
退職給付に係る調整累計額	△208	△201
その他の包括利益累計額合計	1,428	1,612
非支配株主持分	75	80
純資産合計	70,631	71,001
負債純資産合計	128,755	130,479

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	56,174	55,493
売上原価	48,292	47,851
売上総利益	7,882	7,641
販売費及び一般管理費	5,793	6,152
営業利益	2,088	1,489
営業外収益		
受取利息	12	21
受取配当金	73	87
持分法による投資利益	—	12
受取手数料	24	53
その他	64	101
営業外収益合計	174	275
営業外費用		
支払利息	26	37
為替差損	19	35
その他	12	12
営業外費用合計	58	85
経常利益	2,205	1,679
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	22	184
事業譲渡益	12	7
特別利益合計	36	193
特別損失		
固定資産除却損	2	0
投資有価証券評価損	5	104
ゴルフ会員権評価損	—	5
その他	—	0
特別損失合計	7	110
税金等調整前四半期純利益	2,234	1,762
法人税、住民税及び事業税	320	264
法人税等調整額	156	345
法人税等合計	476	609
四半期純利益	1,757	1,152
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,750	1,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	455	△137
繰延ヘッジ損益	△4	16
為替換算調整勘定	△62	182
退職給付に係る調整額	20	6
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△13
その他の包括利益合計	409	55
四半期包括利益	2,167	1,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,159	1,203
非支配株主に係る四半期包括利益	7	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,721	11,132	448	2,872	56,174	—	56,174
セグメント間の内部 売上高又は振替高	261	273	213	161	910	△910	—
計	41,982	11,405	661	3,034	57,084	△910	56,174
セグメント利益又は 損失(△)	1,539	358	△0	152	2,050	38	2,088

(注) 1. セグメント利益の調整額38百万円には、セグメント間取引消去38百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	40,507	10,417	465	4,103	55,493	—	55,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	669	185	177	959	1,992	△1,992	—
計	41,176	10,603	643	5,062	57,485	△1,992	55,493
セグメント利益又は 損失(△)	1,071	317	△19	80	1,450	38	1,489

(注) 1. セグメント利益の調整額38百万円には、セグメント間取引消去38百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。